科目名			中国語 (Chinese)							
学 年	学 科(□	ース)	単。	位 数	必修 / 追	選択 招	受業形態	開講	時期	総時間数
第4学年	経営情報	受科	学修	2 単位	選択		講義	通	年	90 時間
担当教	員	非常勤】請	講師 野村	和代(【副担当】	教授 均	畑村学)		•	
	学習到達目標									
グローバルな社会の中で、技術者として活躍するには専門的な知識はもちろん、多くの人と情報を共有するために豊かなコミュニケーション力が必要とされよう。その際、現代社会に大きな影響力を持つ中国の言語が話せる事は必ず学生諸君の強みとなるはずである。多くの学生にとって初めて学ぶ言葉になると思われるので、ゼロから始めて、徐々に学習を深めていくので、しっかり自力をつけていって欲しい。(1)中国語をピンインと声調符号を使い正しく読める。(2)コミュニケーションを取るのに必要な文法事項を習得している。(3)コミュニケーションを取るのに必要な語彙を習得している。(4)相手の問いを理解し、それに対して適切に答えを返せる。										
到達目標 (評価項目)	優れた	到達レベル 目安	の良	.好な到達し 目安		最低限0)到達レベル 目安	ルの	未到達レ 目3	
到達目標		ピンインと見い、8割以_					ピンインとす い、6割台		国語をピン 号を使い、(。	
到達目標②	のに必要	「一ションを な文法事項 「得している	を8 のに		去事項を7	のに必要		を6の	ミュニケーシ に必要な文 習得してな	法事項を6
到達目標			割以のに		彙を7割台			割台の	ミュニケーシ に必要な語 してない。	/ョンを取る 彙を6割理
到達目標 ④		て8割以上	適切 れに		台適切に		て6割台適	切に か 答	手の問いを ったり、それ えを返すこ。 たない。	
学習·教育到達	桂目標	(G)2		JABEE基準	1(2)			(f)	
			ĕ	成 度	評 価 (%	6)				
指標と評価割合	斯方法 	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		37	37						26	100
知識の基本的な3 【知識・記憶、理角		0	0						0	
思考・推論・創造・ 適用力 【適用、分析レベ		0	0						0	$\rfloor / $
汎用的技能 【 】										$\rfloor\!\!\rfloor / \rfloor\!\!\vert$
態度·志向性(人間	間力)									$\rfloor\!\!\rfloor/$
総合的な学習経験 創造的思考力 【 】	験と									

	関連科目、教科書および補助教材
関連科目	
教科書	『いま始めよう!アクティブラーニング―初級中国語―』 陳淑梅 張国璐著 (朝日出版社)
補助教材等	辞書:『はじめての中国語学習辞典』(相原茂 著 朝日出版社)

学習上の留意点

初めて学ぶ言葉なので、週に一度、授業時に教科書を開くだけでは自分のものにできない。せっかく学ぶからにはきちんとマスターして欲しいので、家庭学習を重視していく。授業時にやったことをすぐに練習する、という形で進め、より多く元気に口に出し発音し、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていってもらう。

教科書購入は必須。テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れたり、中国語以外の事をやっていると減点の対象に なるので、集中して授業に臨んで欲しい。

なお、「達成度評価」の「その他」は練習問題や発音の出来を言うので、定期試験だけでなくふだんの学ぶ姿勢も評価の対象 とする。 授業時にしっかりやっていれば問題ないレベルの出題で試験を実施するので再試はしない。

担当教員からのメッセージ

ほとんどの学生にとって初めて学ぶ言葉になると思うが、最初が肝心ある。中国語学習の世界には「発音よければ、半ばよし」という言葉もあるくらいである。「難しそう」というイメージもあるかと思うが、まずは中国語の1つ1つの音をマスターする事から始めるので心配せず、学び始めて欲しい。ただ、この作業は単純な発音のくり返しになるので、辛抱強く、元気に真剣にやらないとうまくできない。まずはここをクリアする事が第一歩なので、自分自身のやる気と根気が必須である。その後も地道に1つ1つの積み重ねが重要で、一気に上手くなることはない。

皆が思っている以上に、就職しても、進学しても中国語を使うチャンスは多いと思われるし、コミュニケーションカを鍛える事は技術者としても社会人としても大切なことなので、一緒に中国語習得に向けてがんばっていこう。

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)		
ı	·概説+B35:X42	・中国語とはどういうものかを説明でき、それを学ぶ ために必要な知識を習得する。	当該箇所の復習		
2	•発音編 I	・声調と単母音を正しく聞き取り、発音し、書くことが できる。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
3	・発音編Ⅱ	・単母音と子音正しく聞き取り、発音し、書くことがで きる。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
l	·発音編Ⅲ	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
5	・発音編IV	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
6	·発音編 V	・複母音と鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
7	·発音編VI	・鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができ る。	当該箇所の発音やピン ン表記が正しくできる。		
3	- 中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習をいい、試験に備える。		
)	・試験返却と解答解説 ・発音編Ⅶ	・試験解説により、間違った箇所を確認する。 ・声調の変化とr化と軽声を正しく発音できる。 ・あいさつ用語を発音でき、書ける。	当該箇所の復習		
0	•第5課	・動詞「是」といろいろな疑問文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習		
1	・第6課	・姓とフルネームの言い方と尋ね方が正しくできること。・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習		
2	・第7課	・動詞文と選択疑問文が正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習		
3	•第8課	・連動文と願望を表す助動詞「想」が正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習		
4	•第9課	・動詞「有」と「在」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習		
		期末試験	学んだ内容の総復習をい、試験に備える。		
5	・試験返却、解答解説 ・前期のまとめ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。			
15		・試験解説により、間違った箇所を理解する。			

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)			
16	•第10課	・数字、年月日曜日、時刻を正しく表現し、聞き取ることができること。	当該箇所の復習			
17	•第10課	・助動詞「得」「要」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
18	•第11課	・形容詞述語文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
19	•第12課	・お金や量詞を使った表現が正しくできること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
20	•第13課	・年齢を正しく表現できること。・前置詞「在」を正しく活用できること。・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
21	•第14課	・文末の「了」と動詞の重ね型を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
22	•第15課	・経験を表す「過」と比較を表す「比」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
23	•中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。			
24	•第16課	・助動詞「会」と二重目的語を取る動詞を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
25	•第17課	・助動詞「可以」と副詞「有点兒」と名詞「一点兒」を 正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
26	·第18課	・様態補語と時量補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
27	•第19課	・結果補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
28	•第20課	・「是~的」構文と禁止の「別」と「不要」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
29	•第21課	・方向補語と完了の「了」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習			
		期末試験	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。			
30	・試験返却、解答解説・後期のまとめ・授業改善アンケート	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・後期の学習事項のまとめを行う。 ・授業改善アンケートを実施する。				
	総	90 時間				
		講義	60 時間			
		自学自習	30 時間			